

排水金具の取り付け上の注意

※ 商品の機能が十分に発揮されるように、下記の内容に沿って正しく取り付けて下さい。

■注意

排水金具取り付け時には水漏れを防ぐため、横穴有り(オーバーフロー有り)無しに関わらず、必ず下記のような処理を行って下さい。

【排水金具取付手順】

① 取付ける洗面器に排水金具を仮付けし、排水金具との相性を検証します。

② 手順①で排水金具の上部目皿が洗面器から浮き出過ぎる場合は「パッキンA」を外します。問題が無ければそのまま③を行います。

③ 排水金具を取り外しCとDの2カ所に防水処理材を塗布します。

※防水処理材推奨品

TOTO Pシール、市販のシリコンコーキング材

④ もう一度排水金具を取り付け、六角ナットをしっかり和本締めします。

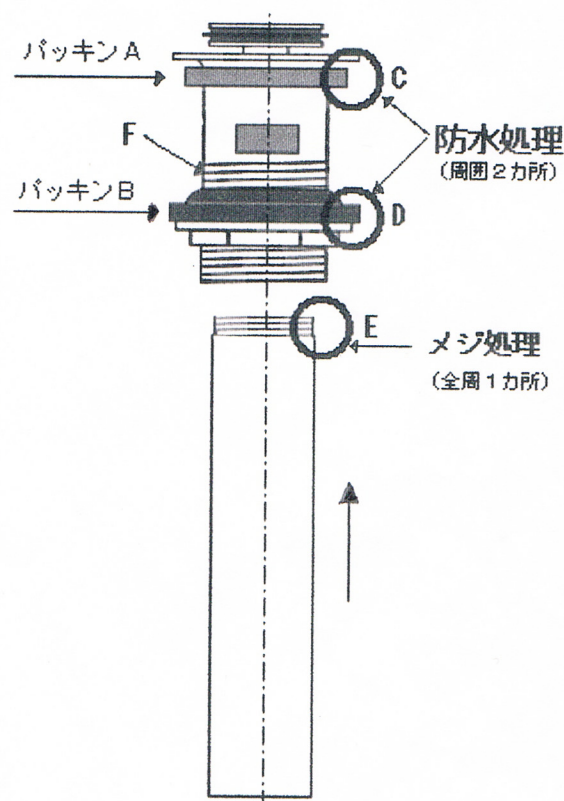
※この、場合事前にFのネジ山にシリコン材を塗布して防水処理を行って下さい。

⑤ 最後にEの箇所にメジ処理を施し手締めで取り付けます。

◆この直管は必ず取り付けて下さい。

※メジ処理材 推奨品

TOTO Pシール、市販のシリコンコーキング材
シールテープ、ヘルメシール



【補足事項】

- 排水金具は横穴有り(オーバーフロー有り)無しに関わらず、基本的には上記の方法にて取り付け施工して下さい。
- 上記方法を怠りますと水漏れする可能性が格段に上がります。特に洗面器と排水金具が異なる製造メーカーや、製造国が異なる場合には特にご注意下さい。
- 手順②は、相性の悪いパッキン(洗面器の排水部との角度の相性)は使用しない方が良いことを意味します。特に輸入洗面器の場合、排水穴角度とパッキンAとの相性が合わない場合もあります。その場合、「パッキンA」を切って調整するか、取り外してPシールやシリコンなどで防水処理を行って下さい。尚、「パッキンB」は絶対外さないで下さい。